

## MEMBER COMPANY [会員企業様]

■特別会員企業  
株式会社アソウ・アルファ  
麻生セメント株式会社  
総合メディカルホールディングス株式会社  
ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社  
フコクしんらい生命保険株式会社  
ユナイトアンドグロウ株式会社

■2019年度新規法人会員企業  
株式会社麻生キャリアサポート  
株式会社通九州  
株式会社モリサワ

■法人会員企業  
RKB毎日放送株式会社  
株式会社アイ・エス・アイソフトウェア  
医療法人あいだ医院  
旭精工株式会社  
株式会社システム  
株式会社麻生  
株式会社アソウ・アカウンティングサービス  
麻生介護サービス株式会社  
麻生教育サービス株式会社  
麻生健康保険組合  
株式会社アソウ・システムソリューション  
学校法人 麻生塾麻生専門学校グループ  
麻生商事株式会社  
麻生メディカルサービス株式会社  
株式会社ナトル  
株式会社エヌ・エス・エス  
エフコープ生活協同組合  
株式会社エムアイユー  
株式会社アールゼ  
大分朝日放送株式会社  
株式会社大賀薬局  
学校法人大村文化園大村美容アカデミー専門学校

株式会社カステラ本家福砂屋  
株式会社日研教育みらい  
株式会社キシヤ  
北原エルック株式会社  
九州電力株式会社  
九州東邦株式会社  
九州旅客鉄道株式会社  
株式会社九電工  
株式会社クリオ  
西部ガス株式会社  
株式会社セカヒラ  
株式会社 サニクリーン九州  
三和ホールディングス株式会社  
株式会社ジニアーケラス  
株式会社翔葉  
医療法人慈会 西原歯科  
新日本製薬 株式会社  
正晃株式会社  
医療法人和会 ゲン歯科クリニック  
株式会社セネラルアサヒ  
株式会社ソーン  
タイシ株式会社  
株式会社慶嶽組  
高杉製薬株式会社  
株式会社タケノ  
地球人jp株式会社  
株式会社筑波開発  
内外電機株式会社  
株式会社長嶺国際テレビ  
中村工業株式会社  
中村産業株式会社  
那覇空港ゴルフ練習場株式会社  
西日本鉄道株式会社  
日伸産業株式会社  
日本カーナイル株式会社  
日本電算システム株式会社

## MEMBERS INTRODUCTION [法人会員ご紹介]



7月より「株式会社モリサワ」様と「株式会社麻生キャリアサポート」様に法人会員としてご加入いただきました。競技と業務を両立できる環境をいただき、支えてくださる皆さまへの感謝を胸に、新たな気持ちでこれからも日々精進して参ります。また、来る東京2020大会へ向け、障がい者スポーツの普及、地域貢献等を通じ、人としても成長できるよう努める所存でございます。今後ともあたたかいご声援のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

▲株式会社モリサワ 様



▲株式会社麻生キャリアサポート 様

### 【会員区分変更のお知らせ】

工藤(博)選手と光瀬選手の雇用に伴い、ユナイトアンドグロウ株式会社様と株式会社アソウ・アルファ様が法人会員から特別法人会員に変更となりました。

## C's Athlete MEMBER [シーズアスリートメンバー]



RIKIYU KUDO

工藤 力也 C's Athlete リーダー  
ゴールボール男子強化指導スタッフ  
1981年 福岡県生まれ  
19才でヘルニアになり視力低下  
(株)アソウ・ヒューマニセンター社員



MASAE KOMIYA

ロンドンパラ金メダリスト  
ロンドンパラ銅メダリスト  
小宮 正江  
ゴールボール選手  
1975年 福岡県生まれ  
小学生のとき網膜色素変性症を発症し、現在は両目とも視野欠損98%以上  
(株)アソウ・ヒューマニセンター社員



RIE URATA

ロンドンパラ金メダリスト  
浦田 理恵  
ゴールボール選手  
1977年 熊本県生まれ  
20歳過ぎ急に視力低下し網膜色素変性症と判明、現在は左目の視力はなく、右目も視野欠損98%以上  
総合ディカル(株)社員



SHOTA KAWANO

車いすテニス選手  
1985年 福岡県生まれ  
17歳の時、交通事故で頸椎を損傷し、右目も視野欠損98%以上  
川野 将太  
信沢 用秀  
車いすテニス選手  
1986年 東京都生まれ  
先天性網膜芽細胞腫で生まれ、現在の視力は右0.40L、左は0  
ニッセイ・ウェルス生命保険(株)社員



KEIKO KONISHI

小西 恵子  
車いす陸上選手  
1978年 広島県生まれ  
6歳の時、自宅で遊んでいて脊髄を損傷し車いすの生活になる  
ニッセイ・ウェルス生命保険(株)社員



KEISUKE SHIROMA

城間 圭亮  
車いす陸上選手  
1996年 沖縄県生まれ  
生まれたてから二脊椎症により両足に麻痺があり車いすの生活になる  
ニッセイ・ウェルス生命保険(株)社員



SHINJI YAMASHITA

山下 慎治  
ブライドマジン選手  
1983年 福岡県生まれ  
高校卒業後、網膜色素変性症と診断され、現在は視野欠損95%以上  
麻生セメント(株)社員



HIROKO KUDO

工藤 博子  
視覚障害者柔道選手  
1984年 大分県生まれ  
未熟児網膜症で生まれ、現在の視力は右0.1、左は手動弁  
ユナイトアンドグロウ(株)社員



TOMOHIRO KOSE

特別サポート選手  
MASAZUMI SOEJIMA  
副島 正純  
車いす陸上選手  
1970年 長崎県生まれ  
19歳の時、交通事故で脊髄を損傷し下半身不随となり車いすの生活になる  
巴拉・パワーリフティング選手  
1993年 兵庫県生まれ  
23才のとき交通事故で脊髄を損傷し下半身不随となり車いすの生活になる  
(一社)ワールドアスリートクラブ シンオソエジマ 所属



Challenge  
my limits

## GUIDANCE OF ADMISSION [入会のご案内]

シーズアスリートではみなさまの  
ご支援をお待ちしております。

会費は全てシーズアスリートの運営費及び選手の競技活動費に使用させていただきます。

### 会 費

特別会員 障がい者スポーツ選手雇用の上、本センターへ出向及び運営費として年間60万円

法人会員 年会費36万円(3万×12ヶ月)

個人会員 年会費1万円

### 会員サービス

特別会員 1.会報誌「RECORD」の進呈・関連イベントご案内及びご招待  
2.無料講演会開催(年1回)

法人会員 3.社員の福利厚生としてマッサージの利用

個人会員 1.会報誌「RECORD」の進呈・関連イベントご案内及びご招待  
2.マッサージ25分無料券(1,000円分)2枚  
3.マッサージ利用25分1,000円(利用回数制限なし)

## 講演会・競技体験会 お気軽にお問い合わせください

シーズアスリートでは世界の頂点を目指す選手による企業・学校・自治体など多方面に向けた講演会・競技体験会を実施いたします。自らの挫折を乗り越え、目標に取り組む選手の話は、パラスポーツへの関心や理解を深めるだけでなく、共生社会実現に向けての一助となります。新入会員様へ向けての講演、リーダー研修などでも大変ご好評をいたいでいます。お気軽にお問い合わせください。

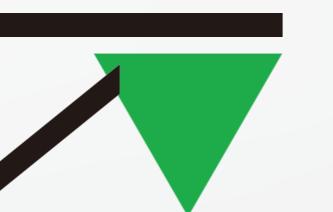
【お問い合わせ・お申し込みはこちらまで】  
**092-711-1800** 営業時間(平日)9:30~18:00

【お問合せ先】障がい者スポーツ選手雇用センター「C's Athlete」事務局  
福岡市中央区天神2-8-41 福岡朝日会館14階  
(株)アソウ・ヒューマニセンター内 担当:工藤/黒田

**TEL:092-711-1800 FAX:092-733-0712**

シーズアスリート  
<http://athlete.ahc-net.co.jp/>

## C's Athlete



颶



爽

特集

新世界で2020に挑む期待の新星たち  
挑戦者たちの軌跡、フィールドの記憶



活動予定  
●8/3~8/4 日本ゴルボール選手権大会男子予選大会(岐阜県／岐阜市)【信沢】  
●8/24~8/27 KL Open(マレーシア／クアランブル)【川野】  
●8/25 第30回 はなます車いすマラソン2019(北海道／札幌市)【城間・副島】  
●8/26 北海道マラソン2019 奈良県2019パラリンピック複数障がい選手団代表選手選考大会【山下】  
●8/28~8/30 Handisport Open Paris 2019 / 2019 World Para Athletics Grand Prix(フランス／パリ)【小西】  
●8/29~9/1 Malaysia Open(マレーシア／クアランブル)【川野】  
●9/1 第27回ソルク国際車いすマラソン大会(韓国／ソウル)【副島】  
●9/7~9/8 日本ゴルボール選手権大会女子予選大会(埼玉県／所沢市)【小宮・浦田】  
●9/10~9/15 US Open USTA Wheelchair Championships(アメリカ／セントルイス)【川野】  
●9/13~9/17 ドイツオープン(ドイツ／ベルリン)【信沢】  
●9/26~9/27 READY STEADY TOKYO(東京都／千代田区)【光瀬】  
●9/28~9/29 天皇陛下御即位紀念2019ジャパンパラゴルボーランド大会(千葉県／千葉市)【小宮・浦田】  
●9/29 Semana Guga Kuerten(ブラジル／フロリアノーポリス)【川野】  
●10/3~10/6 IBSA柔道グランプリ(ウズベキスタン／タシケン)【工藤】  
●未定





工藤博子

## 新世界で2020に挑む期待の新星たち

視覚障害者柔道の工藤博子選手とパラ・パワーリフティングの光瀬智洋選手。ともに競技歴こそ浅いものの、瞬く間に頭角を現し国内トップ選手となり、4月からシーズアスリートに加入した2選手の人生と素顔に迫る。

林 敬起 はやし・かき =文 フリーライター。1969年福岡県出身。2000年「月刊ホークス」誌の創刊に参画。以後、福岡ダイエーホークスおよび福岡ソフトバンクホークスファンクラブ会報誌、オフィシャルイヤーブック、「スポーツ報知」紙などで記事を執筆。



光瀬智洋

### 15年ぶりの復帰～柔の道、再び

#### ● 工藤 博子

—ズバリ、工藤さんってどんな人？

基本的に隠しごとがなく、何でも話すオープンな性格です。ネガティブな発想が好きではないので、何でもポジティブに考えるようになります。趣味はお菓子やパン作り、DIY、キャンプなどのアウトドアです。

—先天性の弱視と伺っています。

未熟児網膜症のため左目が見えず、右目は近づけば文字を判別できますが、人の顔はぼんやりとしか見えません。だから声とシルエットで記憶していることが多いです。

—障害をネガティブにとらえたことはありませんでしたか？

家族に心配をかけたくないという気持ちから、学生時代は弱視であることを隠したまま健常者と同じ普通学校に通っていました。でも、心中では「どうして私が…」と思ったりもします。ただ、友

人や恩師など周囲にすごく恵まれていたことで、楽しく過ごすことができましたね。いまではとても幸せを感じています。

—柔道を始めたきっかけは。

中学では水泳部に入りましたが、水泳部がなく、親友から柔道に誘われたんです。と言っても柔道部もなかったので、有志を募って部を立ち上げました。ちょうど柔道の谷亮子選手が活躍されていたころです。未熟児で生まれたため、もともと体が弱く学校も休みがちだったのですが、柔道のおかげで体力がついて一気に元気になりました。ちなみに中高ともに副キャプテンでした。

—学生時代の戦績は。

高校最後の大分県大会で、いつも九州大会で1位になっていた選手に勝って個人3位になったのが

最高です。

—15年間遠ざかっていた柔道を2018年に再開した理由は。

短大卒業後は介護福祉士として働いていました。そんな時、高校時代の柔道部のキャプテンが、日本視覚障害者柔道連盟の強化コーチをしていたこともあり、再び柔道に誘ってもらったのです。自信はありませんでしたが、やるだけやってみようと思いました。

—ブランクの影響はなかった？

受け身の練習では全身あだだけになり、柔道着の縫い目がこすれて痛く感じるほどでした(笑)。実は再開した年、アジアパラ競技大会と世界選手権の代表選考大会で優勝できなければ別の競技に転向しようと考えていたんです。でも、何とかギリギリで勝つことができました。

—同じ年にはアジアパラ競技大会と世界選手権で銅メダル、全日本選手権でも優勝。

若手の選手との対戦が続き体力的に厳しかったのですが、疲れても組むときは平気なふりをしたり(笑)、自分自身に“いける！”と言い聞かせたりしていました。

—視覚障害者柔道の魅力、健常者との対戦との違いは。

お互いに組んだ状態で試合が始まるので、ダイナミックな大技による一本勝ちが生まれやすいんです。開始数秒で決着がつくことも珍しくなく、私も開始2秒で勝った経験があります。ずっと力を入れたまま引っ張り合ったり、押し合ったりするのでどの選手も健常者より腕力や体幹が強く、疲労の度合いが大きいですね。



—シーズアスリート加入の経緯は。

視覚障害者柔道男子の初瀬選手が代表を務める人材派遣会社が、(株)アソウ・ヒューマニーセンターと提携していた関係で紹介いただきました。

柔道以外のアスリートに接する機会がなかったので興味深かったし、仕事がすごく好きなので出社して勤務する点も魅力的でした。

—実際に加入していくがですか。

刺激的ですね。メンバー同士の共有SNSで試合結果を報告したり、大会前には応援メッセージを送ってくれるのですが今までひとりで戦ってきた分、喜びや感動を一緒に分かち合える仲間がたくさんでてきてとても嬉しいです。

—東京2020大会の出場条件は。

各階級とも、今年の7月と10月、

来年の5月に行われる3度の国際大会でポイントを最も多く獲得した選手1名に出場権が与えられます。

—自信や手ごたえは。

今は63キロ級の国内1位ですが、追われる立場なので出場権をつかめる確証はありません。絶対に負けられないし、やるしかない…いや、やってやる！という気持ちです。

—会員の皆さんにメッセージを。

これ以上ないチャンスをいただいて心から感謝しています。競技も仕事もポジティブな気持ちを忘れず、必ず東京2020大会に出場しますので応援よろしくお願ひいたします。

### MATCH BLIND JUDO [視覚障害者柔道]



□3/29~4/2 German Open and Trainings Camp Heidelberg 2019 Para JUDO (ドイツ/ハイデルベルク)

### 今後につながる貴重な経験を積むことができた

海外遠征や国際大会、格上選手との対戦など、視覚障害者柔道を始めてまだ1年足らずの私にとっては、さまざまな経験を積むための武者修行というべき大会でした。必ずメダルを持ち帰りたいと思っていたので、出場者が最も多かった階級で銅メダルを取ることができて嬉しく思います。また、コーチ不在のまま試合に臨まなければならないといった想定外のハプニングを

含め、今後につながる貴重な経験を積むこともできました。しかし、あらためて世界のトップクラスとの実力差を痛感したのも事実です。もう少し近づいていると思ったのですが、まだまだ努力が足りないようです。世界の壁を乗り越えるため、これからも練習に励んでいきます。(工藤博子)

## 一瞬の力と技に秘めた熱い想い

## ● 光瀬 智洋

## —ズバリ、光瀬さんってどんな人？

人懐こくてすぐに友達になれる性格ですが、負けず嫌いというか否定されると燃えるタイプです(笑)。趣味は、イタリアンでのアルバイト経験を生かした料理など。海に出かけたり、キャンプやバーベキューをしたりするのも好きです。みんなからは「トム」と呼ばれています。

## —障害を負った経緯は。

19歳のとき、大学の入学式前日に駅のホームを歩いていたのですが、体調が悪くて倒れ、線路に落ちたところへ電車が来て巻き込まれてしましました。それから車いす生活で、へそから下の感覚がありません。

## —障害を負われたあとの心境は。

ちょっと過激ですが、死にたいっ



てずっと思っていました。高校時代にダンスをしていて、俳優になるため大学の表現芸術学科への進学が決まっていたのに行けなくなってしまった…喪失感がすごく大きかったです。

## —どのように気持ちの整理を？

入院中、友達が毎日お見舞いに来てくれたので2週間ほど立ち直ろうと思い始めました。ちょうどリハビリが始まって、とりあえず目の前のことをひとつでもできるようになろうと。それからリハビリ病院を2度移ったり、職業訓練学校に通ったりした3年ほどの間にこれまでにない考え方ができるようになりました。徐々に別の世界や新しい道が見えてきました。

—そして、日本スポーツ振興センター(JSC)の「ナショナルタレント発掘・育成パラリンピック検証プログラム(NTID\*)」に合格し、パラ・パワーリフティングと出会う。外資系企業で働きながら定期的にジムに通っていたのですが、ある日そのスタッフが「腕試しに受けてみたら」と教えてくれたんです。それで応募して4~5回ほど試験を受けた結果、2017年3月にパラ・パワーリフティングに適しているということで合格しました。

## —競技に対する印象は。

ジムでベンチプレスをしていたので身近ではありました。競技として考えたことはなく、地味であまり楽しくなさそうだなと(笑)。でも障がい者が健常者の記録を超えることが多く、リオ2016大会で金メダルを獲得した選手が健常者

を上回る世界記録の310キロを持ち上げたと知って口元と可能性を感じ、やってみたいと思うようになりました。

## —パラ・パワーリフティングの魅力は。

実はとてもルールが厳しく、繊細な競技なんです。たとえば、上げ下ろしの際にバーベルが真っすぐ並行にならないといけないし、バーベルは胸の上で一瞬止めて持ち上げる必要があります。それを3人の審判が間近で見て判断します。そしてベンチ台に乗ったら、2分間の制限時間の中で競技をするのですが、自分の感覚しか頼るものがない。そんな緊張感の中での自分の限界を超えていくのが楽しいし、くせになりますね。

## —シーズアスリート加入の経緯は。

退職してアルバイトをしながら競技活動をしていたところ、車いす

テニスの川野選手がバラ・パワーリフティングの選手と知り合いで「無所属で、将来有望な選手はいいのか」と探しているということを聞いて、ぜひ一員になりたいと思いました。

—実際に加入していかがですか。

メンバーも環境も最高ですね。実は加入できなければ、金銭的な事情から競技をやめるつもりでいました。だから、仕事と競技を両立できるようになって本当に感謝しています。

## —東京2020大会の出場条件は。

各階級ともIPC(国際パラリンピック委員会)指定大会に出場していること、その上でIPC世界ランキングとは別の東京パラランクイング8位以内に入った選手1名がダイレクトインで代表となります。

## —自信や手ごたえは。

ランクイン8位以内になると、150~160キロが目安になります。私の自己ベストが127キロなので、150キロという記録は安易に手が届くとは言えない状況ですが、まったく掴めないとは思っていません。

—会員の皆様にメッセージを。

選手としても人としてもまだ未熟ですが、「限界を超える」をモットーに、少しでも勇気や元気を与えることができ、世界のトップ選手のように健常者の記録を超えるアスリートを目指していきますので、応援よろしくお願いいたします！

※NTIDとは…  
JSCが主体となって全国規模で有能なタレントまたはアスリートを見出し、個々の適性に応じた競技種目や中央競技団体へのアスリート育成パスウェイ(道筋)をつなぐ機会と場を提供するもの。

## ▶ MATCH PARA POWERLIFTING [パラ・パワーリフティング]



□4/13~14 第2回パラ・パワーリフティング チャレンジカップ京都(京都府/城陽市)

## ラストチャンスで優勝！

この大会に勝ち、7月の世界選手権出場権を獲得できなければ、東京2020大会への道が絶たれるというラストチャンスでした。優勝することができました。一番エネルギーになったのは、2月の全日本選手権で3回の試技が全て失格になったことで、まったく期待も注目もされなくなった悔しさです。優勝が決まった瞬間「やった！」という気持ちで大きな自

信になりました。これからますます厳しい戦いが続きますが、期待に胸が膨らんでいます。次の大会は、カザフスタンでの世界選手権です。初めての海外遠征ということで長距離の移動や食事等のストレス、より厳しいであろうと予想されるジャッジが結果にどう影響するかを体感しつつ、150キロを目標に世界のトップ選手に食らいついでいきます。(光瀬智洋)

写真提供/西岡浩記

## Athlete's A to Z

知っておきたいアスリート雑学 【視覚障害者柔道とは?】

視覚障害者柔道は晴眼者柔道と違い、組み手争いがなくお互い組んだ状態から試合が開始されます。

## ルール

- お互いに組んでから試合を始め、試合中に両手が離れた時は試合を中断し、その後は試合開始の時と同じ手順で始める。
- 場外規定は、基本的には適用しないが、故意に利用した時は指導の対象となる事がある。
- 試合者が場外に近づいた時は主審が「場外、場外」とコールする。
- 技が決まるか「指導」などの時は、主審がジェスチャーと共に「指導・白」と分かりやすくコールする。
- 視覚・聴覚障害者の選手には、掌に文字を書きそれを本人の胸の方向に向ける。



## クラス分け・階級

視覚障害柔道はIBSA(国際視覚障害者スポーツ協会)の規定により3つに区分され、階級は男子7階級、女子6階級に分かれます

B1	B2	B3
視力0.0025より悪い。	視力0.0025から0.032までか、視野直径10度以内。	視力は0.04から0.1までか、視野直径40度以内。

男子
60kg級 ~60kg
66kg級 60.01~66kg
73kg級 66.01~73kg
81kg級 73.01~81kg
90kg級 81.01~90kg
100kg級 90.01kg~100kg
100kg超級 100.01kg~

女子
48kg級 ~48kg
52kg級 48.01~52kg
57kg級 52.01~57kg
63kg級 57.01~63kg
70kg級 63.01~70kg
70kg超級 70.01kg~

参照元:日本視覚障害者柔道連盟

## 知っておきたいアスリート雑学 【パラ・パワーリフティングとは?】

パラ・パワーリフティングはベンチプレスの1種目の競技で、下肢に障害のある選手のみの競技。

床に置いたバーベルを持ち上げるウェイトリフティングとは違い、下肢障害の選手がベンチ台に上がり脚にベルトを巻いて体を固定しバーベルを上げる競技。1964年東京オリンピック・パラリンピックから正式種目となった。

## ルール

- 主審の「Start」の合図でバーを胸に当ててから上に持ち上げ、「Rack」の合図で戻す。
- 判定は3人の審判がいて、2人以上が白の場合は成功、2人以上が赤の場合は失格となる。
- 失格の基準として、入場から2分以内にスタートできなければ失格。またバーベルを途中で下げたり、バーベルを胸に当てた際目視できる程度で一瞬止めたか、バーベルを平行に上げたかなどが判定される。
- 3回の試技の中で成功した一番重い記録が採用される。

## 階級

階級は男女ともに10階級に分かれます。

男子
49kg級 ~49kg
54kg級 49.01~54kg
59kg級 54.01~59kg
65kg級 59.01~65kg
72kg級 65.01~72kg
80kg級 72.01~80kg
88kg級 80.01~88kg
97kg級 88.01~97kg
107kg級 97.01~107kg
107kg超級 107.01kg~

女子
41kg級 ~41kg
45kg級 41.01~45kg
50kg級 45.01~50kg
55kg級 50.01~55kg
61kg級 55.01~61kg
67kg級 61.01~67kg
73kg級 67.01~73kg
79kg級 73.01~79kg
86kg級 79.01~86kg
86kg超級 86.01kg~

## 豆知識

パラ・パワーリフティングにはクラス分けがない

パワーリフティングは下肢障害者対象の種目なので、障害の種類や程度によるクラス分けはなく、男女の体重別で試合を行います。



写真提供/西岡浩記

参照元:NPO法人日本パラ・パワーリフティング連盟

## MATCH GOAL BALL [ゴールボール]

□4/25～5/5 International Goalball TrainingCamp and Tournament (トルコ／アンタルヤ)  
□5/31～6/2 2019malmo lady and men Intercup (スウェーデン／マルモ)

### ● 小宮 正江

東京2020大会の代表選考を兼ねたマルモ遠征では、選手10名がお互いに切磋琢磨しながらもチームとして強豪国と戦い、世界と日本の現状を知ることができました。5月のトルコ遠征では、個人でも得点を多く獲得することができ、チームでも新しいディフェンスシステムの成果で手ごたえと進化を感じることができましたが、今回のマルモ遠征では自分らしさを存分に発揮できず悔しさが残りました。しかし、新たな課題に気づくこともでき、またひとつ強くなれたと前向きに捉えています。同時に、精度が高く力強い投球、変化のある助走や巧みなポジションチェンジなど、世界の強豪国もまた更に進化しています。私たち日本チームも、常に「日本らしさ」や「自分らしさ」が発揮できるように強化し、挑戦を続けます。いつも支えてくださる皆さま、応援いただいた皆さま、ありがとうございました。感謝の気持ちを、結果で恩返しができるよう、日々の積み重ねに励みます！(小宮正江)

### ● 浦田 理恵

トルコ遠征、マルモ遠征とともに、日本がトップチームの対策として取り組んでいる新しいディフェンスシステムの効果を試行すること、個人の技術面での課題に対し、練習の成果を発揮し、失点ゼロで抑えることを目標に挑みました。結果、新しいディフェンスシステムを有効に感じる場面もありましたが、個人的には守備範囲を安定して守り切ることができず、悔しい結果となりました。結果を残せなかったという厳しい状況ではありますが、悔しさや結果から学べる課題が明確になったことで、新たな可能性への期待感もあります。マルモ遠征ではメダルに一步届かず4位でしたが、世界トップチームのメダルマッチでの迫力ある戦い方、予選からのギアの上げ方には学ぶ点が多くありました。決勝の舞台に立てなかつた悔しさと、自分の役割を果たせなかつた原因と向き合い、今後も自分を変化させ課題に取り組みます。(浦田理恵)



Result [トルコ] 6位 / 10チーム	
1位 トルコA	6位 日本B (小宮・浦田)
2位 日本A	7位 ウクライナA
3位 ロシアA	8位 アルジェリア
4位 トルコB	9位 ウクライナB
5位 ロシアB	10位 イギリス

Result [マルモ] 4位 / 10カ国	
1位 ロシア	6位 ギリシャ
2位 ブラジル	7位 ドイツ
3位 イスラエル	8位 フィンランド
4位 日本	9位 デンマーク
5位 ウクライナ	10位 イギリス

□5/31～6/2 2019malmo lady and men Intercup (スウェーデン／マルモ)

### ● 信沢 用秀

チームとして1年かけて取り組んできた攻撃力とディフェンスシステムの確認に重点を置きました。攻撃に関しては、相手コートを3分割し、それぞれの3m以内に正確に攻撃できるようコントロールの向上に取り組みました。その結果、7試合中4試合で特定の相手を攻め続け、選手交代にまで追いかむことができ、日本優位にゲームを進められたと感じました。目標の優勝には届きませんでしたが、今後の日本チームの特性となる攻撃システムが得られたことに手ごたえを感じています。その一方、守備面には課題が残りました。今後は、失点を限りなく0点にするため、コートの内側を守る意識を強くしながら両サイドの選手は外側へ飛びつける技術を身につけて、守備範囲拡大の強化が必要だと感じています。世界を追い越すため、今回、成果を感じた攻撃システムの更なる強化と、課題が残ったディフェンスシステム構築に力を入れてチーム一丸となって取り組みます。(信沢用秀)



Result 7位 / 8カ国		
1位 ブラジル	4位 リトアニア	7位 日本
2位 ドイツ	5位 フィンランド	8位 スウェーデン
3位 ウクライナ	6位 ベルギー	

## MATCH WHEELCHAIR TENNIS [車いすテニス]

□5/13～5/18 BNP Paribas World Team Cup (イスラエル／テルアビブ)

### ● 川野 将太



2015年に銀メダル、2016年に銅メダルを獲得、そして今年で日本代表として9回目の出場となり念願の金メダルを獲得することができました。来年は2連覇に貢献できるよう経験とトレーニングを積んでいきたいと思います。

Result 金メダル 1位 / 8カ国	
1位 日本	5位 アメリカ
2位 イスラエル	6位 カナダ
3位 南アフリカ	7位 ブラジル
4位 イギリス	8位 オーストラリア

大歓声の中プレーできる喜びを感じながら戦うことができました。

来年は2連覇に貢献できるよう経験とトレーニングを積んでいきたいと思います。

## MATCH BLIND MARATHON [ブラインドマラソン]

□6/1～6/2 第30回 日本パラ陸上競技選手権大会

### ● 山下 慎治



出場種目: 5000m

今大会は自己ベスト更新(自己ベスト: 16分59秒70)を目標に挑みました。ゴール直後の速報タイムは16分59秒21。わずかですが自己ベスト更新でき、伴走者の方と喜んでいました。しかし、その後に記録が「失格」と変更になり、記録なしという結果になりました。理由は、私が伴走者より先にゴールできなかつたためです。ルールで「フィニッシュ地点では視覚障害ランナーが先にフィニッシュする必要がある」という規則により失格となりました。皆さまにいい結果報告ができず申し訳ない気持ちです。課題は、最後の最後まで走り抜く力です。ただ今回レースの内容は、戦術通り走ることができ、自己ベストを更新するような走りができました。練習の成果は出ているので、次回のレースでは今回の教訓をいかして更なる記録更新を目指したいと思います。(山下慎治)

## MATCH WHEELCHAIR RACING [車いす陸上]

□6/1～6/2 第30回 日本パラ陸上競技選手権大会

### ● 城間 圭亮



長崎に活動拠点を移して初めての大会となり、4種目に出場しました。

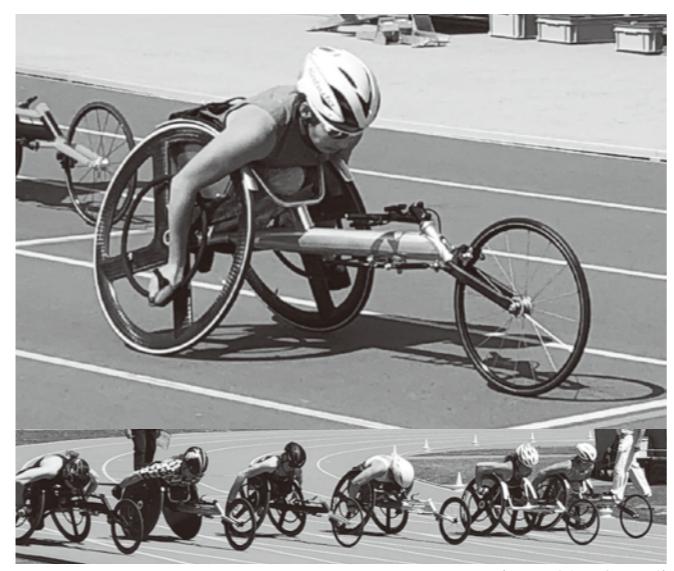
そして、100m、200m、800mの3種目で自己ベストを更新することができました。100mでは、苦手としていたスタートダッシュと持久力を強化したことから目標の15秒台を出し、800mでは強化育成タイムを切ることができました。しかし、400mでは、自己ベストに近いタイムで走ることができたものの、雨天時の対策ができておらず悔しい結果となりました。

次の大会に向けて今大会の反省点を踏まえトレーニングに専念し、修正していきます。(城間圭亮)

Result	100m 予選2位 / 5人中 (15秒98)	決勝2位 / 8人中 (15秒79)
	200m 決勝2位 / 6人中 (27秒75)	
	400m 予選2位 / 5人中 (52秒27)	決勝2位 / 8人中 (53秒56)
	800m 決勝1位 / 6人中 (1分42秒30)	

## MATCH WHEELCHAIR RACING [車いす陸上]

### ● 小西 恵子



スイスの3大会は、トラックが硬いためタイヤとの摩擦抵抗の関係でスピードを出しやすく、各国から記録を狙い多くの選手が集まりました。今年11月に開催予定の世界選手権の出場と来年の東京2020大会の選考期間でもあるため、私も今年の重要な大会に位置付けて挑みました。目標は、世界選手権の100m出場標準記録(17秒34)突破。良い練習を積めていたので自信を持って挑んだのですが、残念ながら達成することはできませんでした。しかし、スタートが確実に改善され以前のように序盤から引き離されるとなく走りましたし、200mでは、1月に出した自己ベストを更に更新できました。集中的に取り組んだスタート練習と筋力アップの成果だと思います。やってきていることは間違いではないので、必ず次に繋がると信じています。これからは、焦りから積み上げたものを崩すことが一番危険なので、今までやってきたことを信じ、丁寧に積み上げることが大事だと思っています。最後まで信念を持って戦います。(小西恵子)

Result □5/24～5/26 Nottwil 2019 World Para Athletics Grand Prix (スイス／ノットヴィル)

・100m 6位 / 11人中 (18秒87) ・200m 3位 / 7人中 (32秒93)

□5/30 Daniela Jutzeler Memorial (スイス／アーヴィング)

・100m 6位 / 10人中 (17秒88) ・200m 4位 / 7人中 (33秒17)

□6/1～6/2 Swiss Nationals (スイス／アーヴィング)

・100m 9位 / 31人中 (18秒15) ・200m 6位 / 24人中 (30秒84)

※T53(小西の障害クラス)、T54の総合ポイント順位

## 特別サポート選手 副島正純 活動報告

□6/1～6/2 Swiss Nationals (スイス／アーヴィング)

最終大会(スイスナショナル)で、1500m、5000mともに自己ベストを更新でき、1500mでは目標としていた3分を切ることができました。しかし、5000mは10分を切るという目標を達成することができませんでした。今後の課題を「高速のキープ力」とし、時速31～32kmを維持できるようトレーニングしていきます。(副島正純)

